

新給食センターに 炊飯設備の導入を

無会派 三宅 良子



問：米飯給食の回数を増やして欲しいという要望に対しては委託先業者の都合で難しく、文部科学省の推進回数「週3回以上」も達成できていませんでした。また、行事食の炊き込みご飯等の対応も同様でした。

新給食センター建て替えにあたり、災害対策面からも炊飯設備を導入すべきと考えますがいかがでしょうか。

答（教育部長）：米飯食を週2回程度実施していますが、現在の委託先では米飯回数の増加は厳しい状況です。給食センターは、

平行、もしくは補完として対応すべく検討をしていま



▲増やして欲しい米飯給食

農業振興対策の今後

新政海クラブ 鈴木 守



問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

市政クラブ 外村 昭 要があると考

えます。

答（建設部長）：インターチェンジ周辺の市道整備については、運動公園東側の市道53号線の整備に向けて事務手続きを進めておりま

す。この整備は、相模川旧本格的な21年度からま

ちづくり交付金を活用し、

23年度を目指して工事を完了

したいと思っています。な

お、市道53号線と下今泉門沢橋線を結ぶバイパスについては、21年度鉄道事業者と立体交差の設計を実施し、25年度完成を目指して取り組んでいきます。

住宅リフォーム 助成制度創設

共産党 重田 保明



問：住宅リフォーム助成制度は市がリフォームを行おうとした方に対し助成することによって、居住環境の向上を図ることも、業者にとっては仕事おこしの先頭に立つて、制度を創設すべきと考

えます。しかし、問題がある個所があれ

ば何らかの対策を講じる必

の支援策として市発注の小規模修繕工事の発注上限額を見直しました。住宅リフォームについては、勤労者および利子補給事業を実施しています。こうした制度を市内事業者の方も市民の利用を図つてまいりたいと考

えます。

住宅所有者へ

方へ周知を図ることが必要

考

えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は

新型インフルエンザ 市の危機管理対策は

海政会 山口 良樹



の直接的助成は市では行うべきないと考えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

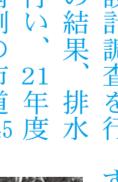
答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は

新型インフルエンザ 市の危機管理対策は

海政会 山口 良樹



の直接的助成は市では行うべきないと考えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は

新型インフルエンザ 市の危機管理対策は

海政会 山口 良樹



の直接的助成は市では行うべきないと考えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

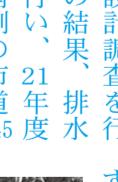
答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は

新型インフルエンザ 市の危機管理対策は

海政会 山口 良樹



の直接的助成は市では行うべきないと考えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

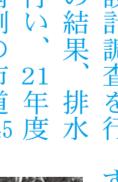
答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は

新型インフルエンザ 市の危機管理対策は

海政会 山口 良樹



の直接的助成は市では行うべきないと考えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は

新型インフルエンザ 市の危機管理対策は

海政会 山口 良樹



の直接的助成は市では行うべきないと考えます。

答（建設部長）：県道藤沢厚木横断個所の浸水に対する避難者への炊き出し等の役割も担うことから炊飯設備の導入を図つてまいりたいと考

えています。新給食センターでの炊飯設備は委託先と

平行、もしくは補完として

対応すべく検討をしていま

す。

問：海老名市は大都市圏内に位置し、都市型農業として発展を遂げてきました。現在、農業をめぐる複合的な諸問題が生じていますが、農業振興プランの進捗状況と農地法改正による農業施策について今後どのように考

えているか伺います。

答（建設部長）：県道藤沢厚木に雨水管を布設して永池川に放流する予定でしたが、県道地下に埋設物が錯綜し、工事が困難であることから、19年度から20年度にかけて、設計調査を行いました。その結果、排水計画の変更を行い、21年度から中土合橋南側の市道845号線を経て、市道532号線に雨水管を埋設し、既設の放流口を利用し永池川へ放流することとしました。併せて、永池川への放流口の詳細設計を実施します。な

ど考えます。

問：新型インフルエンザ市の危機管理対策は